



独自の技術と経験をもとに様々なご提案をしている富士通パートナー「富士テレコム」。お役立ち情報を皆様にお届けいたします。

◆ 今月のお役立ちテーマ ◆

① 気持ちの良い職場づくりのために

長嶺堅二郎



松下電工(現パナソニック)入社。1999年より同社エイジフリー事業に転進。介護専用型有料老人ホーム「エイジフリー・ライフ大和田/星が丘」の経営・運営に携わる。高齢者住宅関連のコンサルティングやスタッフ研修、講演、執筆活動を行い、他に大阪市立大学大学院非常勤講師、全国有料老人ホーム協会・大阪府地域福祉推進財団研修講師、日本応用老年学会顧問を務め、福祉サービス第3者評価調査者、ライフサポートアドバイザーの資格をもつ。CSねっと企画合同会社代表。活き活き倶楽部代表幹事。

ご入居者・ご利用者は居心地の良い空間と快適・安心・安全・楽しみを求めて入っていらっしゃいます。そうした中で職員の挨拶、言葉遣い、行動等、立ち居振る舞いは目に見えるものとして、満足度を左右していきます。大人だから常識だから言わなくてもわかるだろうと放置していたら、チームワークは望めませんし、満足度の高いサービスは提供できません。そこで下記のようなホーム(施設)内ルールを職員全員で作って、お互いに注意し合える環境にし、気持ちの良い職場づくりをしていきましょう。

ホーム(施設)内ルール参考事例

1. 年齢・経験年数・上司・部下に関係なく、施設内ルールを守っていない場合は**注意**をする
2. アドバイスや注意をされた時は、笑顔で『**ありがとうございます**』という
3. 返事をする際は『うん』ではなく『**はい**』と言う
4. わからないことがあれば勝手に判断、返答せず、必ず上司・先輩に**確認**をする
5. 持ち場を離れる時は、同僚や上司に行先・所要時間等を必ず**一声**かける
6. 新しい情報は必ず**情報共有**のノートに記入するできれば**口頭**でも伝える
7. 出勤した際は必ず**情報共有**(引継ぎ)ノートを**確認**する
8. ご入所者を呼ぶ際は必ず『**さん**』又は『**さま**』づけで呼ぶ、会話をする際はお客様として人生の大先輩として**尊重した言葉づかい**をする
9. ご入居者の部屋に入室する際は必ず**ノック**する
10. 使ったものは必ず**所定**の位置に戻す
11. 物を広げたままにしない。きちんと**整理**する
12. 出勤時・退勤時は大きな声で**元気よく挨拶**をする
13. 身元引受人やご家族が来られた時は、意識的に**挨拶、声掛け、対話**をする

全職員が意識して行動していくと、確かな風習、風土が生まれホーム(施設)の繁栄をもたらします。

② 幸せな最期のための看取り介護

前田万亀子



編集会社およびデザイン会社勤務後、1993年にプランニングMakiを設立。多様な業種の広告・出版業務に携わり、大阪のATC エイジレスセンターに事務所を設置したのをきっかけに福祉・介護分野に取り組み始める。高齢者の聞き取り取材や自分史、DVDづくりを手がける。介護関係の出版物『認知症ケア』『リハビリ体操』『口腔ケア』(ひかりのくに株式会社)など多数。CSねっと企画合同会社所属。一般社団法人PORO理事

<http://omoi-de-poro.sakura.ne.jp/>

人にとってどう生ききるかということと同じように、どのような最期を迎えるかということも大事なことです。看取りはご家族や介護スタッフなどの見送りによって、より良い終焉を迎えていただくケアです。近年は看取り介護を行っていない老人ホームや介護施設のほうが少数派になってきており、介護スタッフが看取り介護を行うことが増えてきています。生活支援が主な仕事である介護スタッフは、余命わずかな方にどのように寄り添えば良いのか、不安も大きいのではないのでしょうか。懸命に生きた一つの命が燃え尽きようとするときに、その姿に寄り添うことは介護スタッフにとってかけがえのない経験になることには違いありません。

ご本人やご家族から看取りの要望があれば、介護施設で看取り介護を行っていくことになります。ご家族が精神面でのケアに集中できるのが施設のメリットで、看取り介護を行うには、日頃からご本人やご家族との間での信頼関係が大切になってきます。ご本人の意思決定を基本に、ご家族と十分に話し合いながら、看取り期の経過で変わっていく状態や状況に応じて、医療・介護が柔軟に選択できる環境や体制を構築するようにしていきましょう。

ターミナルケア(終末期医療・看護)が点滴や酸素吸入などの医療的ケアを中心とするのに対して、介護スタッフができることは、食事をしていただくこと、清潔に保つこと、様子を見て声かけをしたり、スキンシップをとったりすること。ご本人が一日一日を悔いのないよう、日々のケアの延長線上にあるものと考えて接していくことです。そして、介護スタッフだけでなく、医師・看護師の協力を得て、ご本人とご家族が納得いただけるよう最良のサポートをしていくことです。

そのためにも看取りを行うために必要な知識やスキル、心構えを十分に身につける必要があります。不安を覚えるのも無理のないことですが、前向きに取り組んでいただきたいものです。

● 栄養管理システムのご紹介 ●



導入実績 **6,000**ヶ所以上!



「AjIDAS8」 4つの特徴

他システムとの連携

- ・電子カルテ、オーダ連携等、連携実績が多数
- ・ベッドサイド端末と連携実績あり

多彩な個人管理機能

- ・禁止コメント、アレルギー情報から代替献立を設定
- ・個人の嗜好による献立作成が可能

帳票出力の効率化

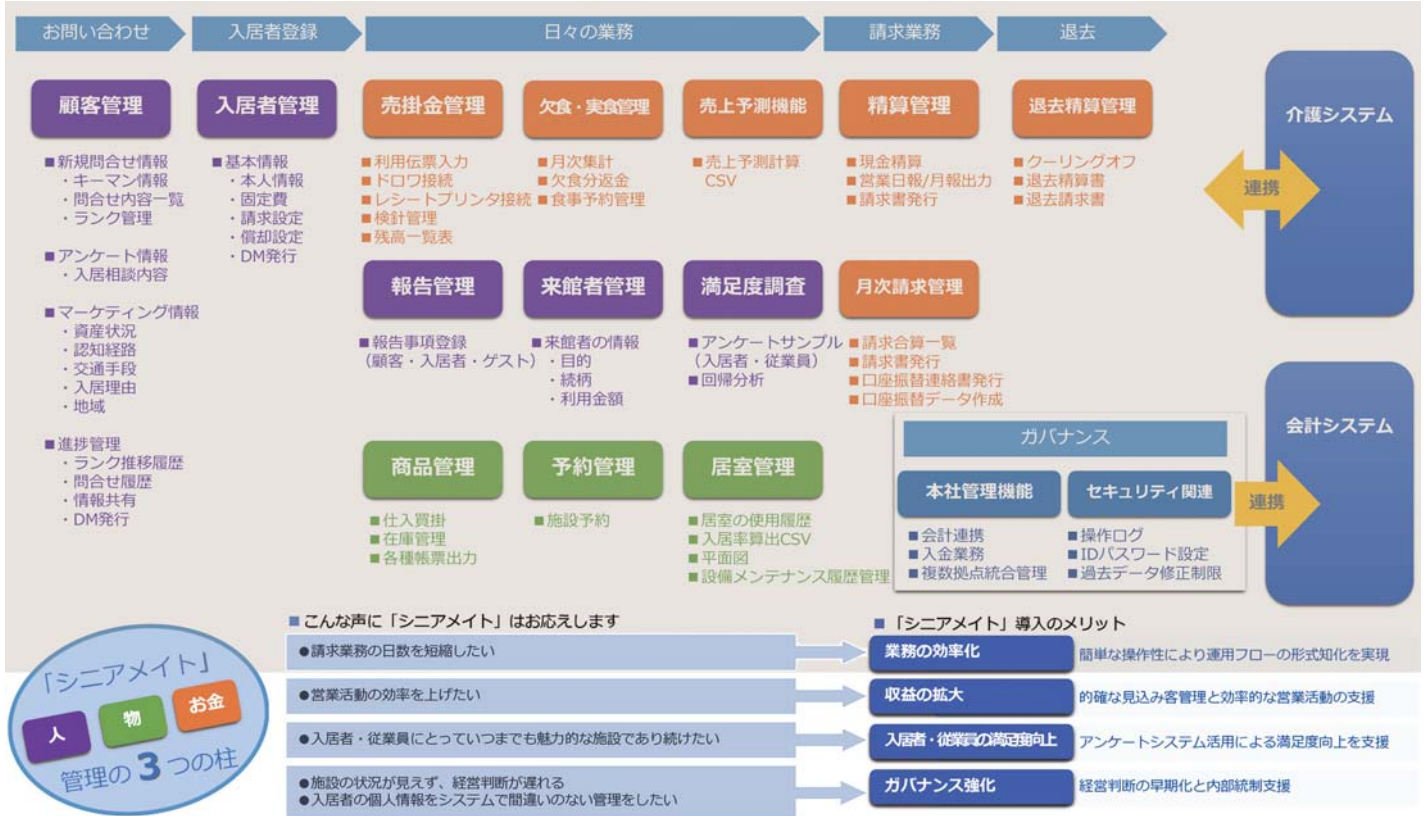
- ・用紙サイズ、表示食種等、表示形式を自由に選択
- ・決まった帳票を出力時間帯毎に登録しておき、複数帳票を一括印刷

サポート体制

- ・土日祝含め、365日お問い合わせを受付
- ・リモートアクセスによるオンライン保守サポート

貴社に最適なお提案をさせていただきます。お気軽に担当営業までお問合せください!!

■「シニアメイト SaaS」業務フローチャート



ご興味ご関心等ございましたら、お気軽にご相談くださいませ!

【お問い合わせ先】 富士テレコム株式会社
ヘルスケア営業部 第二営業課
ご意見、ご感想をお待ちしております。

TEL 03-3962-0222 担当者 植村・山下・小野寺・沼野
E-Mail seniormate-communication@fujitelecom.co.jp